

平成27年度 部局長マネジメント方針

にしむら ひろゆき
消防局長 西村 博之



私の決意

本市の消防は、庁舎、装備などのハード面の整備や通信体制、教養訓練、研修等のソフト面の整備により、着実に発展を遂げ、今日に至っておりますが、火災をはじめとする災害は社会情勢や地球環境の変化といった様々な要因により、複雑多様化、大規模化しており、市民生活を脅かす災害は今も後を絶ちません。

昨年の国内における災害状況を顧みても、自然災害が全国各地で猛威を振るい、昨年8月に広島市で発生した集中豪雨による土砂災害では、被害が広範囲におよび、多数の尊い人命が失われたほか、消防職員が殉職するという痛ましいものとなりました。また、9月には御嶽山の噴火で60名を超える死者、行方不明者を出す災害が発生するなど、改めて自然の猛威を感じたところであります。

このような中、今年には阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件から20年目の節目の年であります。これまでの災害の経験や教訓を踏まえながら、近い将来発生が危惧されている南海トラフ巨大地震などの大規模地震や、各種災害に迅速かつ的確に対応していかなければなりません。

我々の目標とするところは、「市民生活の安全確保」であり「安全安心なまちづくり」であります。これは永遠に変わることはありません。この変わらぬ目標達成に向かって行くためには、まず市民のみなさまの負託に応え、信頼を得ることが一番大切であると考えます。

そのためには、消防力を充実強化し、「想定外」を「想定内」にする先を読む力、そして何より市民のみなさまの生命、身体及び財産を守るという強い使命感のもと、専門的知識と何事にも柔軟に対応出来る人材を育成するとともに、地域防災力の中核を担う消防団との連携を強化し、公助、共助をより強固なものとしていかなければなりません。

今後とも市民のみなさまの負託に応え、信頼を得ると同じベクトルに職員全員が一丸となって取り組んでいく所存でありますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。